



平成27年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ワイズテーブルコーポレーション
 コード番号 2798 URL <http://www.vstable.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 兼 社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員
 四半期報告書提出予定日 平成26年7月15日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 金山 精三郎
 (氏名) 武本 尚子

TEL 03-5412-0065

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第1四半期の連結業績(平成26年3月1日～平成26年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第1四半期	3,523	3.0	93	△24.6	92	△41.5	32	△60.4
26年2月期第1四半期	3,421	2.2	124	△15.9	158	30.4	81	81.7

(注) 包括利益 27年2月期第1四半期 40百万円 (△22.2%) 26年2月期第1四半期 51百万円 (15.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第1四半期	12.13	—
26年2月期第1四半期	30.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭
27年2月期第1四半期	5,631		1,117		19.6	415.58
26年2月期	5,193		1,077		20.5	401.00

(参考) 自己資本 27年2月期第1四半期 1,105百万円 26年2月期 1,067百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年2月期	—				
27年2月期(予想)		0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年2月期の連結業績予想(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,104	5.4	97	△41.4	78	△62.1	37	△72.2	14.06
通期	14,494	6.3	360	17.9	328	△23.2	188	△23.3	70.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年2月期1Q	2,660,900 株	26年2月期	2,660,900 株
② 期末自己株式数	27年2月期1Q	— 株	26年2月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年2月期1Q	2,660,900 株	26年2月期1Q	2,660,900 株

(注) 当社は平成26年3月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。このため、期末発行済株式数(自己株式を含む)及び期中平均株式数(四半期累計)は、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたものと仮定して算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績等の見通しは、当社が現時点において合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は見通しと異なることがあります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の向上や雇用情勢の改善を背景とした個人消費の増加や消費税率引上げに伴う駆け込み需要の影響もあり、緩やかな景気回復が見られました。しかしながら、新興国経済の停滞は不安材料として残っており、消費税率引上げ後の景気反動懸念も払拭されたとはい切れないなど、景気の先行きは不透明な状況下にあります。

外食産業においては、消費マインドに回復の動きは見られるものの、食材価格が高騰しつつあることに加え、「食」の安全・安心に対する社会的関心の高まりに伴い品質管理体制のより一層の強化が要求されるなど、業界内の環境は引き続き厳しい状況にあります。

このような状況の下、当社グループは、直営及びFCによる新規出店を積極的に推進してまいりました。当第1四半期連結累計期間におきましては、引き続きカジュアルレストラングループは好調に推移しましたが、XEXグループがウエディング売上の減少等により減益となり、売上高は3,523百万円（前年同期比3.0%増加）、営業利益は93百万円（同24.6%減少）、経常利益は92百万円（同41.5%減少）、四半期純利益は32百万円（同60.4%減少）となりました。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメントの状況は次の通りです。

①XEXグループ

「XEX」をはじめとする高級レストラン事業であるXEXグループについては、消費税率引上げの影響は特に見られなかったものの、平成25年4月に直営店「The Kitchen Salvatore Cuomo ROPPONGI」、同年6月に直営店「LE CHOCOLAT DE H」を閉店したことにより両店舗の売上高が剥落したことに加え、ウエディングの件数及び売上高が前年同期に比べ減少いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の同グループの売上高は1,231百万円（前年同期比7.4%減少）、営業利益は37百万円（同48.6%減少）となりました。なお、店舗数は直営店11店舗、FC店2店舗となりました。

②カジュアルレストラングループ

カジュアルレストラングループについては、直営店及びFC店の新規出店を進めてまいりました。直営店では、平成26年3月に「SALVATORE CUOMO & BAR 日本橋」及び「Crystal Jade Shanghai BAR 日本橋」、同年4月に「SALVATORE CUOMO & BAR 新潟」を、FC店では、平成26年3月に「SALVATORE CUOMO & BAR 万座ビーチ」、同年4月に「SALVATORE CUOMO & BAR 柏の葉」を出店いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の同グループの売上高は2,290百万円（前年同期比9.5%増加）、営業利益は310百万円（同4.8%増加）となりました。また、店舗数は直営店38店舗、FC店34店舗となりました。

③その他

その他は、不動産賃貸事業等により構成されております。当第1四半期連結累計期間の同グループの売上高は1百万円（前年同期比1.3%減少）、営業損失は1百万円（前年同期は営業損失1百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は2,690百万円となり、前連結会計年度末に比べ365百万円増加いたしました。これは主として、現金及び預金の増加311百万円、売掛金の増加43百万円等によるものです。固定資産は2,941百万円となり、前連結会計年度末に比べ73百万円増加いたしました。これは主として、建物及び構築物の増加96百万円、敷金及び保証金の増加12百万円、長期繰延税金資産の減少15百万円等によるものです。

この結果、総資産は5,631百万円となり、前連結会計年度末に比べ438百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は2,970百万円となり、前連結会計年度末に比べ365百万円増加いたしました。これは主として、買掛金の増加143百万円、短期借入金の増加168百万円等によるものです。固定負債は1,543百万円となり、前連結会計年度末に比べ32百万円増加いたしました。これは主として、長期借入金の減少26百万円、繰延税金負債の増加34百万円等によるものです。

この結果、負債合計は4,514百万円となり、前連結会計年度末に比べ398百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は1,117百万円となり、前連結会計年度末に比べ40百万円増加いたしました。これは主として、四半期純利益の計上32百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は19.6%（前連結会計年度末は20.5%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、平成26年4月16日の「平成26年2月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,149,448	1,460,687
売掛金	550,406	593,679
原材料及び貯蔵品	252,857	252,014
繰延税金資産	147,620	151,361
その他	229,955	237,915
貸倒引当金	△4,560	△4,758
流動資産合計	2,325,729	2,690,900
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,684,075	1,781,050
その他(純額)	272,374	264,059
有形固定資産合計	1,956,450	2,045,109
無形固定資産		
のれん	267,671	256,964
その他	56,512	55,864
無形固定資産合計	324,183	312,828
投資その他の資産		
敷金及び保証金	561,325	573,659
繰延税金資産	16,281	813
その他	22,939	21,858
貸倒引当金	△13,345	△13,245
投資その他の資産合計	587,201	583,085
固定資産合計	2,867,835	2,941,024
資産合計	5,193,564	5,631,924
負債の部		
流動負債		
買掛金	609,866	752,950
短期借入金	874,224	1,043,191
未払金	697,109	756,215
未払法人税等	58,659	20,566
ポイント引当金	17,491	19,052
株主優待引当金	40,376	25,572
その他	307,192	353,332
流動負債合計	2,604,920	2,970,881
固定負債		
長期借入金	910,160	883,604
繰延税金負債	5,800	40,175
資産除去債務	431,102	442,142

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
その他	164,499	177,900
固定負債合計	1,511,562	1,543,822
負債合計	4,116,482	4,514,703
純資産の部		
株主資本		
資本金	830,375	830,375
資本剰余金	898,683	898,683
利益剰余金	△516,448	△484,161
株主資本合計	1,212,609	1,244,897
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9	13
為替換算調整勘定	△145,588	△139,091
その他の包括利益累計額合計	△145,578	△139,077
少数株主持分	10,050	11,400
純資産合計	1,077,081	1,117,220
負債純資産合計	5,193,564	5,631,924

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)
売上高	3,421,924	3,523,168
売上原価	2,809,146	2,907,926
売上総利益	612,777	615,241
販売費及び一般管理費	488,713	521,744
営業利益	124,063	93,496
営業外収益		
受取利息	112	70
協賛金収入	4,265	5,105
補助金収入	—	10,000
為替差益	33,878	—
その他	7,160	5,706
営業外収益合計	45,416	20,882
営業外費用		
支払利息	11,003	11,040
為替差損	—	9,490
その他	442	1,332
営業外費用合計	11,446	21,863
経常利益	158,033	92,515
特別利益		
固定資産売却益	—	863
特別利益合計	—	863
特別損失		
固定資産除却損	1,429	—
減損損失	2,985	—
店舗閉鎖損失引当金繰入額	16,609	—
店舗閉鎖損失	2,569	—
特別損失合計	23,594	—
税金等調整前四半期純利益	134,439	93,378
法人税、住民税及び事業税	17,588	13,081
法人税等調整額	35,247	46,102
法人税等合計	52,835	59,183
少数株主損益調整前四半期純利益	81,603	34,195
少数株主利益	—	1,907
四半期純利益	81,603	32,287

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	81,603	34,195
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13	3
為替換算調整勘定	△29,992	5,940
その他の包括利益合計	△29,979	5,944
四半期包括利益	51,624	40,139
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	51,624	38,788
少数株主に係る四半期包括利益	—	1,350

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 3
	XEX グループ	カジュアル レストラン グループ	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,329,228	2,091,126	3,420,354	1,570	3,421,924	—	3,421,924
セグメント間の内部売 上高又は振替高	464	8,623	9,087	—	9,087	△9,087	—
計	1,329,692	2,099,749	3,429,441	1,570	3,431,011	△9,087	3,421,924
セグメント利益 又は損失(△)	72,379	296,109	368,488	△1,748	366,740	△242,676	124,063

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△242,676千円には、セグメント間取引消去額257千円、各セグメントに配分していない全社費用△242,933千円を含んでおります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 3
	XEX グループ	カジュアル レストラン グループ	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,231,494	2,290,123	3,521,618	1,550	3,523,168	—	3,523,168
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,231,494	2,290,123	3,521,618	1,550	3,523,168	—	3,523,168
セグメント利益 又は損失(△)	37,167	310,357	347,525	△1,329	346,196	△252,699	93,496

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

- 2 セグメント利益又は損失の調整額△252,699千円には、セグメント間取引消去額866千円、各セグメントに配分していない全社費用△253,565千円を含んでおります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。
- 3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。